



1「建設コンサルタントは、縁の下の力持ちのような存在」と胸を張る大西正人社長 2 米子市内にあるヨナゴ技研コンサルタントの本社 3 定期的なメンテナンスで安全にインフラを管理 4 先輩社員が後輩社員とペアを組み、マンツーマンで指導 5 治山ダムや砂防えん堤の設計など災害を防ぐための業務も担当

## 建設に関わる業務を コンサルテイング 暮らしを支えて50年

道路や橋、下水道・上水道、のり面対策など、官公庁が建物以外の公共工事を行う際には、現地の調査や測量をして設計図を作り、最適な方法を提案する。まさに、「公共工事のレシビ」を作っているとも言えるのが、建設コンサルタントだ。たかが測つて図面を描くだけ——と侮るなかれ。現代の街は、地上にも地下にも多くの物があふれ、権利関係を明らかにするだけでもひと苦労の上、ビルや家、山や川など高さや大きさ、長さも異なる様々なもの、定規やメジャーで簡単に測るといっわけにもいかない。

高度な測量設計技術に加え、企画の構想や、工程、品質の管理、受注者に説明する能力も問われる。「まさに、建設に関わるあらゆる業務をコンサルテイングするのが我々の仕事。建築物のように目には見えにくいですが、暮らしを支えるためになくてはならない仕事だと自負しています」。《株式会社ヨナゴ技研コンサルタント》の大西幸人社長(65)は胸を張る。

旧国鉄を退職した初代社長が1971年、国有地の線路と、隣接する私有地を分けるために測量する会社を興したのが起源だ。設計の需要が高まってきたことなどを背景に1991年、現在の形に組織と名前を変更。2000年代初頭からは入札から測量、設計まで担うようになった。創業時3人だった社員は、創業50周年を迎えた今、40人に増えた。「かつては、設計を大手コンサ

ルに任ずケースがほとんどでしたが、地元企業の育成を念頭に、建設業界でも「地産地消」の流れが活発化してきました」と大西社長。半世紀で大きく躍進した背景にあるのが、資格者の育成と、実績の積み上げだ。技術士や測量士、RCCMなどの資格取得にかかる費用は会社が全額負担するだけでなく、合格時には報奨金も付与、もちろん資格手当もつく。また、入札制度改革で地元業者の受注機会が増えたことを背景に、積極的に新規事業に挑み、着実に実績を重ねてきた。

### 鳥取県下全域をカバー 災害時には迅速に対応

鳥取県や国土交通省からも仕事を受注するため、社員は県下全域約3500平方キロメートルを駆け巡る。道路や河川の砂防設計、急傾斜

対策工設計などに加え、高度な知識や経験がより問われる港湾整備や張り出し歩道の設計も手掛けている。湖山地の護岸や境港公共マリナーナ棧橋の設計も同社が担当した。

近年は自然災害が多く、各地で道路のり面の崩れや護岸浸食などが発生。「地元住民の不安や不便を解消するために早急に動く必要がありますが、一方で被害の再発を防ぐための綿密な調査も必要です」と大西社長。現地では、従来の測量方式に加え、ドローンなどを使って高精度地形データを作成したのち、地形や地質、被害状況などから最も適切な対策を考えて設計していく力が求められる。「災害はどこで起きるか分かりません。社会資本を整備することで地元住民を守ることができ、やりがいのある仕事です」



株式会社 <sup>ぎけん</sup>ヨナゴ技研コンサルタント

「地域を守り、よりよい街に」という使命を胸に、  
まちの未来図をゼロから描くプロ集団

**37**  
LEADING  
COMPANY



## 株式会社 ヨナゴ技研コンサルタント

業種 土木サービス業

事業内容 建設コンサルタント(土木測量・設計)業

創業 昭和46(1971)年5月8日

代表者 代表取締役 大西 幸人

社員数 40名(男30名 女10名)

〒683-0854

鳥取県米子市彦名町1460番地4

TEL/0859-29-5321

<https://yonago-giken.co.jp/>

●倉吉営業所

### 求める人材像 Check!!

- 技術を求められる仕事ですが、やる気・努力・向上心のある方なら専門知識が無くとも会社が責任を持って指導・フォローをします。
- 明るく元気にコミュニケーションが取れる方を求めます。

資料請求・お問い合わせ先

採用直通 TEL

0859-29-5321

採用直通 E-mail

[ygc-human-resources-department@yonago-giken.co.jp](mailto:ygc-human-resources-department@yonago-giken.co.jp)

資料請求

インターンシップ

会社見学

公式サイトは  
こちら



「専門知識がなくても、会社が育て上げるから誰でも挑戦してほしい」と呼びかける大西社長。そんな声に導かれて入社したのが、CADオペレーターとして活躍する大塚結衣さん(28)だ。「最初は専門用語が全然分からなくて何度も聞き直しました」と振り返る。新入社員は、先輩社員と2人1組になってマンツーマン指導を受ける。先輩と信頼関係を築きながら、技術や知識、経験を積み重ねていく体制が整えられているのだ。

図面の作成でも、道路工事と護岸工事では並べ方や配置がまるで違い、同じ仕事は一つとしてありません。CADオペレーターの仕事は、受注者に納入する前の最後の業務だけに、プレッシャーも少なくない。納期がタイトな災害復旧工事の際は、よりスピードが求められる。「大変な時期もありますが、チームワークで乗り切っています」と笑う。同社は、社員の平均年齢が40歳代前半と若い。うち4分の1を女性が占め、出産後、短時間勤務制度などを活用しながら復帰する女性社員も多い。「結婚、出産しても、この会社なら働き続けられると実感しています」「地域を守り、よりよい街にする」という使命を抱き、日々進化し続けて半世紀。「測る」ことの大切さを原点に、さらなる発展を目指している。



#### 道路の設計

新設の道路設計や歩道設計、また既存の道路やコンクリート構造物の点検・補修設計なども手掛ける。



#### 快適なオフィス

建設コンサルタントの仕事は、社内でデスクに向かう時間も長い。より良い環境で質の高いパフォーマンスをするため、オフィスを一昨年リニューアルした。ワンフロアだった設計部と測量部をフロアを分けて配置。広々としたクリーンな空間で、より快適に仕事に取り組みると社員にも好評だ。

#### 「自治体との“つなぎ役”」営業部

「測量がどれくらい進んでいるか伝えたり、新しい技術を提案したり、と受注させてもらった自治体には最低でも週に一度はお邪魔しています」と話す営業部の石賀さん。設計や測量の知識も必要だ。「ある程度は詳しくなければ、分かりやすくお伝えすることもできません。大変ですが、自らも提案しながら新たなものを生み出していけるというのは非常に面白いですね」

同業他社などを経て中途入社した石賀さん。「うちは社員が若くて活気があり、数年後はさらに力のある」と話す。設計図書や仕様書を読み解き、工事に必要な材料費から作業員の人件費など総合的な工事費を算出する積算業務も担当。「わずか10円の差が受注の可否を決めることもあり、シビアな世界です。情報収集と研究・分析が欠かせません」。落札できなかった時は、公開された他社の積算内容を見て自社との差異を分析し、次に生かせるよう研さんを重ねている。

チームで業務を行っているため、平日にある子どもの学校行事などにも参加しやすいという。「互いに調



#### 測ることで命を守り、暮らしを支える

道路や河川、港湾など様々な現場に向き、時には山道を分け入ってまで正確に距離や面積などを測る測量部。様々な工事の基盤となる、重要で責任の重い業務だ。



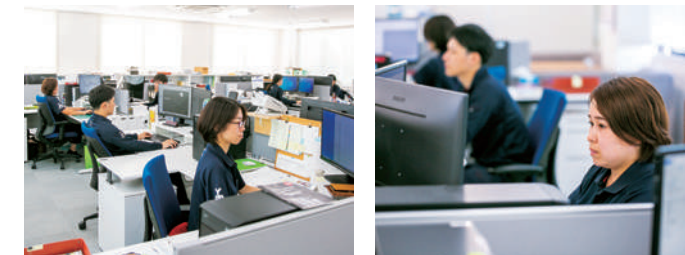
#### 高精度な機器生かし正確な測量を

近年は高精度な3次元測量にも注力。わずかな測量の誤差は大きなミスにつながりかねず、現場での適切な取り扱いはもちろん、事前の点検も綿密に行う。



公共工事を担う建設コンサルタントの仕事の端緒は、入札による受注だ。かつては「価格競争方式」がメインだったが、近年は技術力を審査する「プロポーザル方式」や、技術と価格の両方を審査する「総合評価方式」による業者選定が増えていく。営業部の石賀一成さん(45)は、「受注をいただくにはまず信頼が大切。請け負っている仕事の進捗状況を丁寧に報告したり、よりスムーズに業務が行えるよう工法や機材の提案をしたりしつつ、社の実績をアピールして次の受注につなげていきます」と話す。

受注が決まれば、発注者との協議などを経て、現場での測量が行われる。測量士の大谷恭平さん(39)は、「測量のミスは後の作業に全部響きます。チェックを重ね、正確なデータを設計に送るのが僕らの責務です」と説明する。測量はたいいてい2〜3人のチームで実施。1人がミラーの付いたポールを持って測定地点に立ち、もう一人がトータルステーションを用いて角度と距離を同時に測る。パソコンに送った測定データをもとに、専用ソフトを用いて各種図面を作成し、設計部へ。「広い現場だと、1枚の平面図を作るのに1カ月以上通うことも。道なき道を歩くこともあります」と苦笑いする。



#### 人々の生活の利便性や安全性を守る土木設計

現場ごとに異なる構造物の計画設計から点検・調査・維持管理までを行う設計部。高い技術力と提案力を発揮するには、ソファスペースでのリラックスタイムも欠かせない。

信頼と実績で受注拡大  
情報収集や分析も不可欠

わずかなミスが命取り  
チームワークで正確な仕事